

## 西日本豪雨がきっかけで開発された 森林保全につながるカンナ削りの“木のストロー” 被災地岡山開催の G20 保健大臣会合で採用、G20 観光大臣会合にも

木造注文住宅の株式会社アキュラホーム(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:宮沢俊哉)が独自開発した世界初のカンナ削りの“木のストロー”を、2019年10月19日・20日に岡山県岡山市で開催された「G20 岡山保健大臣会合」、10月25日・26日に北海道倶知安町で開催された「G20 観光大臣会合」に、各200本提供し、各国大臣などのコーヒープレイク・夕食会場・プレスセンターなどで使用され、好評を博しました。



G20 岡山保健大臣会合での様子

### ●西日本豪雨がきっかけで生まれたカンナ削りの“木のストロー” 間伐材の利用で、災害の防止に寄与

カンナ削りの“木のストロー”は、2018年の西日本豪雨を取材した環境ジャーナリストの竹田有里氏が、災害の一因に間伐が適時適切に行われていなかったことを問題視し、発案したもので、アキュラホームが世界で初めて開発・量産化に成功しました。間伐材を含む国産材を主材料とし、厚さ0.15mmにスライスした薄板をストロー状にまとめ上げています。森林環境の整備保全による減災の観点から、国産間伐材を主材料とし、使用用途の限られる節目部分も無駄なく活用できるように工夫しています。

今年も台風15号、19号によって大きな風水害が発生しました。計画的・定期的な伐採などの森林管理がなされていないことも、被害を大きくした一因ではないかといわれています。木のストローによって間伐材の利用が進み、地元での地産地消を進めることで、森林管理、ひいては減災にも貢献するものと期待されます。

### ●カンナ削りの“木のストロー”が、様々な問題の解決を導く

木のストローは、間伐材の利用により森林資源の保全のほか、廃プラの削減に寄与するといった地球環境問題にも貢献しています。また同時に、各地域で地元産材を利用して、障がい者や高齢者などの方々が製造することで、雇用にも大きく寄与する可能性があります。

## ●静岡県焼津市の消費生活展で木のストロー展示

2019年10月26日(土)、静岡県焼津市「焼津文化会館展示室・小ホール」で開催された、「第43回焼津市消費生活展」に、アキュラホームのカナナ削りの“木のストロー”が展示されました。

焼津市と焼津消費者連絡会が主催するもので、消費生活に役立つ情報の展示や参加・体験イベント、講演会などが実施されました。この生活展では、SDGs(持続可能な開発目標)についての展示、環境問題などに力が注がれており、木のストローが環境問題の解決に貢献するものであり、SDGsに沿った製品であることが高く評価されて、今回の展示につながりました。アキュラホームでは、今後こうした行政のイベントなどにも積極的に木のストローを提供し、普及につとめていきます。



## ●G20での提供実績

- ① 2019年5月11日、12日 G20新潟農林水産大臣会合で採用
- ② 2019年6月8日、9日 G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合で採用
- ③ 2019年6月8日、9日 G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議で採用
- ④ 2019年6月14日～16日 地球へ 社会へ 未来へ G20イノベーション展へ出展
- ⑤ 2019年6月15日、16日 G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合
- ⑥ 2019年6月28日、29日 G20大阪サミット
- ⑦ 2019年9月1日、2日 G20愛媛・松山労働雇用大臣会合
- ⑧ 2019年9月5日、6日 G20消費者政策国際会合
- ⑨ 2019年9月4日～6日 G20文部科学省主催教育関連イベント
- ⑩ 2019年10月19日・20日 G20岡山保健大臣会合
- ⑪ 2019年10月25日・26日 G20観光大臣会合